

本書は、応用言語学者である筆者が、日本の英語教育界で一般通念として認識されている「ことばはネイティブスピーカーから学ぶのが一番だ」「英語力は社会的・経済的成功をもたらす」等は、「幻想」であるとして、専門的な知見から検証したものである。例えば、「国際共通語である英語さえ習得すれば、世界の人人々とコミュニケーションが図れる」に對して、筆者自身が行った日系企業の海外駐在員のインタビュー調査から、「現地社員との距離を縮める現地語の役割も重要であり、英語のみでのコミュニケーションでは、真のグローバルの姿勢ではない」ことを検証している。また、「コミュニケーション能力は、文法や語彙の正確さや会話の流暢さが基本にあるのではなく、意思疎通のため

本書は、応用言語学者である筆者が、日本の英語教育界で一般通念として認識されている「ことばはネイティブスピーカーから学ぶのが一番だ」「英語力は社会的・経済的成功をもたらす」等は、「幻想」であるとして、専門的な知見から検証したものである。例えば、「国際共通語である英語さえ習得すれば、世界の人人々とコミュニケーションが図れる」に對して、筆者自身が行った日系企業の海外駐在員のインタビュー調査から、「現地社員との距離を縮める現地語の役割も重要であり、英語のみでのコミュニケーションでは、真のグローバルの姿勢ではない」ことを検証している。また、「コミュニケーション能力は、文法や語彙の正確さや会話の流暢さが基本にあるのではなく、意思疎通のため



久保田 竜子 著  
ちくま新書 886円  
☎03-5687-2680

## 英語教育幻想

のストラテジー（ジャスチャーや指さし、伝えたい内容を絵や図に描く、わかりやすいことばに言い換えるなど）に支えられていることも主張し、「相手をいかに理解するかという意識を持つことが、総合力となってコミュニケーションが図れる」と述べている。小学校外国語教育に對しては、学習開始年齢よりも、学習者のモチベーション、指導アプローチ、環境等の要因が影響している等の研究を紹介し、小学校では英語至上主義を強めないためにも英語だけにこだわらない異文化・異言語理解教育の実現を提唱している。

著者の「今日の英語教育のように、競争社会で勝ち抜くための実用主義ではなく、豊かな人間生活と平和な人間社会のための教育政策の柱として再考されるべきではないでしょうか。」という言葉に、教育者として素晴らしい人間性を感じた。

（愛知教育大学教授・高橋美由紀）